

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中のグループホームとして「地域と共に」を基本理念として運営推進会議などを通して、情報交換や交流を進めて地域の一員としての生活支援サービスを提供している。	同上
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「明るく豊かな心と心のふれあい」を大切に、心をこめて日々のお世話をさしていただいている。利用者の笑顔の暮らしが毎日ある。その笑顔は職員の喜びでもある。	同上
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族の来訪や地域の代表である運営推進会議、グループホーム便りなどで周知していただいている。	同上
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所には他のグループホームもあり散歩の際にはお互いに寄ったり、寄らせてもらったりして交流を深めている。地域の方々の来客にも皆さん笑顔で挨拶をかわし、日常的なお付き合いができています。	同上
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所を地域の施設と位置付けており、町内会に入り、地域の祭りごと大切にし、参加することにより地域の人々との交流に努めている。	同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者の多い地域であり、高齢者の方々の生活を見て、困っておられる様子が見られたときには、自然に声をかけてお手伝いをし、それが自然にできている。		同上
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己に責任の持てる温かい介護サービスを行っている。日常的に懇切丁寧な介護サービスに取り組んでおり、自己評価及び外部評価を日々の介護サービスに活かして改善に取り組んでいる。		同上
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について詳しく報告を行っている。定期的に発行するホーム便りによる生活の風景写真やいろいろな行事等を見ていただき、それに対する意見をいただき、サービスの向上に努めている。		同上
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	常に市町村担当者と相互に連絡をとり、疑問に思ったことや介護保険サービス制度の変更などについて意見交換をし、サービスの質の向上に取り組んでいる。		同上
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、本などから抜粋し学ぶ機会を作っている。		同上
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待はあってはならないことであり、利用者の自宅や施設内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、日々のスタッフ同志の話し合いや申し送りなどを通して防止に努めている。		同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		同上
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		同上
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		同上
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		同上
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		同上
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		同上
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		同上

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	医療法人等からの研修参加へも参加し月1回の会議において研修内容を発表し日頃のケアに役だてている。	同上
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの職員との交流も大切にしている。勉強会などへの誘いもあって参加している。お互いの施設のサービスの向上に役立っている。	同上
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同志の飲食会の日を設け、日頃話せないことや不満に思っていることを話し合うことにより、ストレスの軽減をしている。	同上
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月1回全職員を集めて勉強会をしている。職員が自己研鑽のために書いたレポートの発表もあり、皆の士気の向上がある。	同上
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホームに入居され、戸惑いの多い日々の暮らしの中で、温かい雰囲気をつくり、ご本人のご意向をゆっくりと傾聴し、精神的不安の解消に努めることで少しずつ信頼を築いている。	同上
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	介護を他人に任せる家族は初期には大変な不安を持っておられる。十分な説明を丁寧にする事で、その不安が軽減している。来訪時にもホームの様子をお伝えしたり、要望も遠慮なく言ってもらえる雰囲気作りに努めている。	同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	最初の相談は病院受診が家族で出来ないことが殆どであり、その他のサービスで受診を介助している。その為の移動手段は無料でサービスしている。		同上
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居されて暫くはホームでの生活に不安を抱えておられるために、スキンシップを図りながら、きめ細かい配慮を行っている。ご家族の方々にも時間の許される範囲で来訪していただけるようお願いをしている。		同上
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と共に過ごし支えあう関係を築くためには、すべてを理解することが大切である。また包括的なアプローチができるように努力している。		同上
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人を理解した上でどうしても難しい状態が見られた時にはご家族に相談をし、支えていける関係ができています。		同上
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的にホーム便りを発行し、毎日の生活状態をお知らせしている。ホーム便りで見える笑顔の暮らしを家族は喜び、自宅で暮らしている時には見せなかつた笑顔を見られることで、ここでの安心のある暮らしを理解されている。		同上
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでに係わりのあった友人や親せき、家族までもすっかり忘れてしまわれている方もおられるが、居室にはご家族と写された写真や思い出のある置物等が飾ってある。友人や親せき、家族方々との面会の誘いもホーム便り等で行っている。		同上
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様一人ひとりの性格や好みなどを把握し会話が弾み、笑いが多く聞かれる、またうまく話しが出来ない方には職員が間に入り孤立させない環境を整えている。		同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了は入院等で退去になった方々である。入院治療の甲斐なく亡くなられた方への、葬儀参列など、職員は自前で香典を準備し、残された家族とのつながりも大切にしている。		同上
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向は自宅での家族との暮らしであり、把握はできても家族の都合もあり、本人の希望を叶えてあげる事は難しいです。家族に代わり丁寧な介護が一生懸命行われている。		同上
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活歴を伺って介護サービス利用のための参考にしてている。その人が一番輝いていた頃の思い出が蘇ってくるような明るい話題を多く持ち、穏やかな雰囲気づくりに努めている。		同上
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人にあった心身状態を把握し、個性を大切にしながら、出来ることを喜び、出来ないことへの手助を行っている。		同上
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月1回の職員会議を行い、利用者の現状の情報が皆で把握できている。その人にあった介護サービスができるように、常に話し合いが出来ている。緊急においては申し送りノート等で全員がわかるようにしてある。必要に応じて家族の意見も聴き、計画の変更も柔軟にしている。		同上
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時に介護度が重度であった方が食生活が整い介護度が軽くなられた方や介護度は軽かったが入居も長くなり老衰が進んでこられた方など、その都度、現状に即した新たな介護計画を話し合い、作成している。		同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録で残すことの大切さは職員一同認識しており、その記録は個々にされている。読み合うことで情報の共有が出来ている。		同上
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所には大きなバスがあり、1年に1度1日旅行が全員一緒にできたり、そうめん流しの観光施設もあり、季節を感じていただけるよう、その支援は実に多機能である。		同上
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会長、民生委員、消防団なども気軽に立ち寄りがある。近くの小学生も小さな行事に飛び入り参加したりしている。また小学校の運動会などの見学にも行っている。		同上
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	居室の空き状況など相互に他のサービス事業者との連絡をとり支援をしている。		同上
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	介護度の変更に伴い他のサービス移行が発生し、家族が特養への希望があらわれる場合には、ご家族の意向を尊重し地域包括支援センター協力をお願いしていく。		同上
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診介助は基本的には、ご家族で行って頂くようになっているが、家族にはそれぞれに都合があられ、支援して下さる家族、そうでない家族とあられる。困難なご家族様に代わり、ホームでの支援はかかりつけ医との良い関係を築きながら確実にしている。重篤な身体変化においては、緊急に連絡をし、適切な医療を受けられるよう支援している。		同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		同上
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		同上
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		同上
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		同上
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		同上
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ひとり一人の誇りや尊厳を大切にし、言葉の持つ意味の大切さを十分考慮している。職員は基本的に「です、ます」調で入居者と接している。職員には守秘義務があり、記録等の個人情報や施設内での出来事について他に言及することはない。	同上
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	認知度が進むと本人の思いや希望を表わせなくなるが、できるだけ分かりやすい言葉で話し、本人の意思を確認しながら、いつも笑顔で生活できるように支援している。	同上
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に入居者のことを第一に考え、できるだけ入居者のペースにあわせて介護サービスができるようにしている。	同上
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	スタッフが髪染めやヘアカット、化粧などの介助サービスをしている。服なども綺麗に洗濯し清潔感のあるものを常に着用できるようにしている。	同上
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と一緒にコミュニケーションを図りながら、料理の下ごしらえをお願いしたり、季節に収穫した野菜の献立を一緒に考えて夕食に準備したりと楽しみの多い日々を過ごして頂いている。	同上
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	酒、たばこを嗜まれる人はいない。飲み物はやはり日本茶が好きで、おやつは昔ながらの芋類を好まれます。焼いたり、ふかしたり、揚げたり、団子にしたり、手作りのおやつを喜んでもらっています。最近より月に一度(ひまわり喫茶日)を設け、その日の気分で好みのお茶を頂いて貰えるよう支援している。	同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	毎日の日課計画において時間での誘導や本人の訴え・一人ひとりの排泄パターンを把握し必要に応じトイレ誘導を行えるよう最近より支援している。		同上
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を好まれる方は多いが、本人の意向を尊重しながら、毎日支援は行っている。認知症の進行に伴い一人ひとりの症状を把握し時間のタイミング・声掛けの工夫・誘導前の環境のあり方等を皆で考え、楽しんで入浴していただけるよう支援している。		同上
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼夜逆転傾向にあられる方もおられるが、ほとんどの方が良眠されている。夜間、気持ちよく休んでいただけるように、日中、出来る活動を増やしたり、気分転換に外への散歩等支援している。		同上
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	踊り好きな方や歌うことが好きな方がおられ、その方々が回りを楽しませてくださり、毎日が賑やかである。皆さん外出も好まれ季節に応じた外出サービスが多く取り入れてあり、気晴らしの支援となっている。		同上
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を希望されておられる方への支援はできている。しかし殆どの方は管理が難しい状況である		同上
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のいい日はほぼ毎日近距離の散歩や玄関先での外気浴をし、回りの山の緑観察や小鳥のさえずりを聞いたり、ドライブで遠距離の景色も楽しんでいただいている。		同上
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段行けない場所への外出では、月1回街のレストラン等での外食を楽しんでいます。年1回の日旅行も家族への参加を呼びかけているが今のところ参加はありません。利用者が十分に楽しめるように機会をつくります。		同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙の代筆も頼まれれば気軽に引き受けている。遠方より家族の様子伺いの電話があれば、とにかく本人の声を聞いてもらうよう電話を取り次いでいます・		同上
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族も友人も気軽に遊びにおいていただいている。迎えるスタッフも心地よく過ごしてもらえるようにしている。		同上
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設以来、身体拘束は一度も無かったが、体調を崩されホームでの訪問介護を受け、点滴を行う際、本人が点滴をこまばれ、どうしても拘束しなければ出来ない状況になり、点滴が終わるまでの間、行った事があります。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はしてない。夜間は安全のため内鍵はしてある。		同上
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に目は利用者を向き仕事をしている。台所仕事をしながらも利用者の動きが確かめられて安全が守られる体制にある。夜間は個室を見回るが就寝中は入口のドアをしめてプライバシーの保護をしている。		同上
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤、薬の保管は適切に管理している。また包丁は必ず利用者の目には見えないところに保管している。		同上
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災等の緊急対策マニュアルをつくり、年2回火災避難訓練を実施している。薬はスタッフが管理し利用者に必要時に必要量を確認をして飲ましている。また転倒や食べ物をつまらしての窒息など危険な事態にならないよう見守りを大切にしている。		同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署にきていただき、応急手当訓練や心肺蘇生の訓練を定期的に行っている。	同上
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の火災避難訓練を行っている。また、緊急連絡網により従業員近くに住む地域の方々との協力がもらえるようにしている。	同上
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	年齢が進むにつれて老人性衰弱の進行があります。また心臓病や脳梗塞などのリスクが高くなり、いつ急変するかわかりません。家族とも常にそのリスクを話し合っています。	同上
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックをして、その日の健康管理に役立てている。顔色や動き回りにも気をつけて異変の早期発見に努めている。	同上
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者全員が何らかの持病があり薬を飲んでいますが、利用者には必要時必要量を確認して投薬しています。薬局からの薬の説明書を見て目的や副作用、用法や用量を理解しています。	同上
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	特に便秘に苦しむ利用者はいないが薬の副作用で便秘になりがちの方のためには暖下剤を処方してもらい、食べ物も新鮮な野菜を多く取り入れた食事を提供し、排便を促す工夫をしている。	同上
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝と昼の食後はお茶での口ゆすぎ、夕食後は必ず歯磨き誘導し、適切な歯磨きができるよう見守り、一部介助や出来ない方への支援を行っている。また一週間に一回はポリデントを使用している。	同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量・水分量のチェック表の見直しを行い一日を通して把握・確認できるよう改善していく。一人ひとりの状態・習慣の把握に努めていけるようにする。		同上
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策は手洗い・うがいを徹底し実行している。(インフル・エンザ・リネン交換等)		同上
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食食事作りの担当者を一人決めて、台所の衛生管理は徹底している。一人決めることで責任感が生まれている。自家菜園採れたて新鮮野菜を毎食使うことで、食材の安全が確保できている。		同上
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	広い出入り口の玄関のテラスを利用し、たまにはそこでお茶を飲んだり、近隣の人たちが来た場合にはお茶を一緒に飲んで話しをしたりします。		同上
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	冬場日光が共用空間の和室畳部屋に差し込み、そこで日光浴が楽しめている。廊下、居間、浴室、トイレも掃除が行き届き、心地よい空間作りになっている。		同上
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室で丸テーブルで食事する人、お茶を飲む人、ソファでゆっくりくつろぐ人、好きな居場所がそれぞれある。気の合った者同士があちこちで談笑しながら過ごされている。		同上

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室はその人のプライバシーを守る部屋であり遠方からの面会の家族があれば宿泊も可能にしている。それぞれの部屋には家族との写真が貼ってある。仏壇や鏡台などの昔使った物の持ち込みを家族に話してはある。ほとんどの人が寝具と衣類のみになっている。		同上
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日部屋の換気、空気の入替えをしている。年間を通して温度調節をし利用者の負担にならないようにしている。		同上
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全面バリアフリーになっており、廊下は手すりがくまなく設置されており、利用者が安全に歩行できるようにしている。車椅子も4台ある。		同上
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様との会話においては、混乱や失敗を防ぐ為に、温かい表情にて、一人ひとり分かりやすい言葉で、ゆっくりと理解しやすい内容の言葉掛けを行なっている。		同上
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周りには季節の花が咲き、玄関では小鳥がさえずり、外気浴時に利用者は楽しんで居られます。		同上

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホーム湧水の里は、湧き水豊かな祓川町にあり、居室の窓からは高隈山の大パノラマが眼前に広がり、空気もきれいで緑に囲まれた素晴らしい環境の整った場所にあります。市街地にも近く各種病院にも近い為、ご家族様にも大変喜んで頂いております。私達は、自家菜園が隣接地にあり、一年を通じて季節の野菜を栽培し、旬の新鮮な沢山の種類の野菜がほぼ、毎日食卓にあがります。建物の周りには利用者と一緒に山からつわの苗を摂ってきて植えたものが季節を感じさせる食材ともなっております。新鮮な採りたて食材が入居者様の健康を維持しているのか、毎年、嘔吐下痢症やインフルエンザが流行している中「湧水の里」では幸いなことに罹患患者ゼロで、元気に過ごして頂いております。また、毎月の各行事に加え、年1回は大きなバスで日帰り旅行も支援しております。隣接地にそうめん流し施設もあり、季節を楽しむ支援もふんだんに出来ております。スタッフも皆、入居者様にかかわりを多く持ち、温かい笑顔で接し、楽しい雰囲気の中、穏やかに、不安なく安心と尊厳のある生活を支援しております。